

企画名	里地里山としてのまちを描く		実施日時	2014年 夏 90分
			場所	鯖江
			ジャンル	自然体験
企画担当者 (リーダー◎)	◎森木			
企画概要	里地里山の特徴を教え、それが成立するためのまちを考えながら描く			
実施年齢・実施人数				
必要 備品	借り出し品	プロジェクター		
	持ち寄り品	模造紙、カラーペン、色鉛筆		
	参加者 持ち物	特になし		
【目的】				
<ul style="list-style-type: none"> ・里地里山が与える生き物や自分たちへの恩恵を知ってもらい、鯖江にも存在する里地里山の重要性を知ってもらおう。 ・里地里山を守るためには、人と生き物が共存していけることが大事であると伝える。 				
【プログラム詳細】				
<p>①導入(パワーポイント): 里地里山の概要と良い点を話し、子供たちに自分たちとの関わりについて教える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里地里山とはどのようなところかを伝える ・里地里山があることによる良い点と、人との関わりを伝える(具体例: 川、森、田んぼ) <p>以上を踏まえ、人にも生き物にも優しい自分たちのまちを考えてもらう</p> <p>②本題: 人と生き物の共存できる「自分のまち」を絵に描いてもらう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カラーペンや色鉛筆を使用し、紙に自分のまちを自由に描いてもらう。 <p>(紙にはあらかじめ太い道が途中まで書いてあり、他の子どもの紙とつなげることができる。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が作業をする中で、学生が「人と生き物の共存できるまち」について意識してもらえるよう問いかけなども行う。 <p>③結論: 里地里山を守るには、人も生き物も住みやすいまちであることが大事。</p> <p>鯖江にも里地里山の風景はたくさん見られるが、重要さを感じ取り、意識して過ごしてほしい。</p>				
特記事項 例)[雨天時対応][残りタスク][不安点][その他] 【雨天時対応】 <ul style="list-style-type: none"> ・室内で行うため、雨天時の対応は晴天時と変わらない 				
【備考】				
【企画を終えて(振り返り)】				
◆よかった点				
◆反省点				